



感染症サーベイランスオフィサープログラム (Surveillance Officer Program/SCOP)

プログラムの目的

自治体において感染症サーベイランスを有効に活用するために、データの収集から分析・還元までの一連の流れ（サーベイランスループ）を習得して「サーベイランスオフィサー」として活躍できる専門的人材を育成して、ネットワークを広げていきます。

プログラムの到達目標

サーベイランス基礎知識の習得：感染症サーベイランスの意義と仕組み

データ収集・整備技術の習得：報告システムと検査データの取扱い

異常検知と対応の演習：疫学的手法によるサーベイランスアラートの習得

情報還元：データの視覚化、報告書の作成

ネットワーク構築：サーベイランスオフィサーをハブとしたネットワーク

プログラム開始時期：2025 年 11 月～12 月の 2 週間（予定）

研修形式：ハイブリッド（オンライン+オンサイト：国立感染症研究所ほか）

対象者：原則として自治体職員（感染症サーベイランス担当または興味のある方）

募集人員：50 名

プログラムスケジュール案

日程	内容
1 週目 講義形式	●感染症の基礎知識 ●感染症サーベイランスの基礎知識 ●感染症法と発生動向調査 ●感染症におけるサーベイランス各論 (呼吸器、消化器、STD、AMR、VPD)
2 週目 講義形式、見学・実習	●災害時の感染症サーベイランス ●データ解析とリスクコミュニケーション ●ケーススタディ ●パネル討論

参加申込：指定フォームよりお申し込み下さい。8 月頃にご案内する予定です。

お問い合わせ：国立感染症研究所感染症サーベイランス研究部情報管理研修室

担当：稲葉秀子、神垣太郎  scopout@nih.go.jp  03-5285-1111